



住民が助け合い、心豊かに暮らす街にしたい、
そんな思いの活動が、8年目になりました。
隣人のために、そしてご自身のために、
あなたも、参加しませんか？

協力スタッフ、募集しています！

そう
だ
入
ろ
う。
ビ
レ
ジ
サ
ポ
ー
ト、

写真：第14回（2019年度）住まいのまちなみコンクール 国土交通大臣賞受賞通知から借用（一部修正）

「この街を少しでも住みよい街・美しい街にしたい」、「住民の困った問題解決のお役に立ちたい」とビレジサポート（VS）が活動を始めて8年目、おかげさまで柏市役所、柏ビレジ自治会のご支援に加え、民間企業からも賛助いただいて活動が広がり、「助かった」と言って下さる住民の方々が増えています。

協力スタッフは柏ビレジと近隣に住むシニア世代です。その道のプロではありませんが、社会人・生活者としての経験と知恵を活かし、地域と隣人のお役に立ちたいと願っている人たちです。あなたの参加で活動の輪がもっと広がり、喜んでいただける人が増えれば、素晴らしいではありませんか。そしてあなたご自身にとっても、生きがいと健康作りにつながるにちがいありません。ご参加を心からお待ちしています。

協力スタッフが担当する業務（例）

- ◇ **助け合い活動**：庭の除草、水やり、ごみ出し、ごみ当番代行、粗大ごみ搬出、掃除、窓ふき、カーポート屋根・タイル掃除、家具等の部屋移し替え、簡単な修理、DIY組み立て支援、保育園業務支援 等
- ◇ **剪定サービス**：庭木の剪定・除草、垣根の補修 等
- ◇ **受託業務**：柏ビレジ第三・第四緑道・第四公園の維持管理、柏の葉キャンパス除草・剪定作業、アクアテラスの環境整備、パラソル管理、まちの健康研究所「あ・し・た」管理業務 等
- ◇ **IVY-LABO受付業務**：相談窓口、サービス受付
- ◇ **VSの管理業務**：総務、経理、広報、ホームページ運用 等

助け合い活動部 料金改定のお知らせ

ご利用いただいております助け合い活動部のサービス料金を右表のように改定させていただくことになりましたので、ご理解とご協力をお願い致します。

新料金は2020年4月1日実施分から適用させていただきます。作業内容と料金についてご不明な点は個別にご説明致します。何なりとお気軽にご相談ください。

サービス項目	会員料金	一般料金
庭の草取り	1,100円 /1時間	1,500円 /1時間
庭の水やり	800円 /1時間	1,200円 /1時間
ごみ出し	200円 /1回	300円 /1回
カーポート屋根・床清掃	1,200円 /1時間	1,800円 /1時間
簡単な修理・補修等	800～1,200円/1時間	1,200～1,800円/1時間
その他サービス（ゴミ当番、庭掃除、犬の散歩等）	800円 /1時間	1,200円 /1時間

■ ビレジサポート ご利用のお問合せ、入会ご相談は IVY-LABO 店頭受付（TEL: 04-7106-5117）まで



緑のまちなみは柏ビレジの宝です
みんなで守り育てましょう

今年も、庭木のお手入れは
VSの剪定サービスで！
お早めにお申し込みください！



2019年度は160軒で剪定作業させていただきました。

天候不順で作業日の変更や長いお待たせが生じ、ご迷惑をおかけしました。ご理解とご協力に御礼申し上げます。

2020年も異常気象の影響が懸念され、昨年以上に作業が混み合うと予想しています。ぜひお早めにお申し込みください。

VS剪定団は今年も頑張ります！ よろしくお願ひ致します。

剪定スタッフ募集中！

VS剪定団のスタッフはビレジ住民です。午前中の2時間半程度で作業が完了するように、数名のチームで作業しています。

剪定作業は適度な運動に加え、樹木と対話する知的な活動で、心身の健康維持に最適です。先輩が実地指導し、理論・実技の研修会も行っています。仲間との語らいや飲み会も楽しみです。あなたも参加しませんか？ お気軽にご相談ください。

松の剪定はプロの知識と技術が要求されます。
VS剪定団員もプロを目指して研修しました。



松の剪定を研修するVS剪定団スタッフ（2020年1月）
研修の場をご提供いただいたオーナー様に感謝申し上げます。

「終活講座」を終えて

「通いの場」担当 林 忠男

ビレジサポートが初めて主催した講習会「終活講座」の4回シリーズが無事終了しました。予想を超える約200人のご参加をいただき、主催者の一人として大変嬉しく思っています。

世を挙げて「終活」が話題になっている中で、柏ビレジ版の終活講座を思い立ったのは半年前でした。有志5人でプロジェクトチームを立ち上げ、何度も集まって計画を練り上げました。

今回の「終活講座」ではユニークな工夫をこらしました。

1) 身近な人に講師になってもらい、気軽に参加していただき、勉強会ではなく、実際に行動を起こす講座にする。

- 2) 「わたしの望みノート」を講座開始の1か月前から配布し、事前に理解に努めてもらう。（ご要望が予想を上回って追加手配を重ね、嬉しい悲鳴を上げました。）
- 3) 講座の日程に正月を挟んで、家族が集まる場で終活について話し合う機会を持ってもらい、それを踏まえて自分の意思を書き込むようにする。
- 4) 講座が聞きっぱなしにならないように、最終回に参加者が一緒に「わたしの望みノート」を書き始める場を設ける。

最終回では、4グループに分かれて「介護」、「終末医療」、「自分の最期のあり方」について意見交換していただきました。このようなテーマで他人の意見を聞く機会はあまりないので、自分の考えの中が拡がり、有意義な時間になったと思います。

今回の講習会では、これまでの「通いの場」の各種イベントでお見かけしなかった方が多数参加されました。毎月1回発行して41号を重ねてきた「通いの場」通信を、多くの住民の皆さんがちゃんと見て下さっているのだ、と感激しています。

この度の講座にご協力頂いた柏市社会福祉協議会、東大福井先生、講師を引き受けて頂いた柏ビレジクリニック遠藤先生、北部包括支援センター山本所長、柏儀式殿、それにわれらが中間の木村史朗さん、松本彰さんに深く感謝します。

できれば続編を実施したいと思っています。乞うご期待！

